読書感想文を書こう　三・四年生

名前（　　）

本を読んで、心にのこったことやぎもんに思ったことを、書きとめておきましょう。
本と出会って、動いた自分の心を見つめることは、これからのみなさんの成長の助けになるでしょう。
この夏休みに、たくさんの本を読んで、読書感想文にちょうせんしてみてください。
きっと、お気に入り一さつと出会えるでしょう。

感想文の書き方

①本をえらぶ

すきな本
きょうみがある本

先生やほかの人の
おすすめの本

かだい図書

②本を読む

★同じ本を三回いじょう読む。

一回目・・・だいたいのかんそうや感動をつかむ。
二回目・・・立ち止まって読みながら、マークしておく。
（ふせん紙をはったり、紙をはさんだり）
三回目・・・自分がマークしたところを中心に読んで、自分の考えをたしかめる。

③かく

★かきだし

・一番心にのこったことから　・本を読み終わった後の感想から
・ふしぎに思ったところから　・本の中の文を使って
・その本を読んだきっかけから　・登場人物へのよびかけから

★文の組み立て

三つの部分（はじめ、なか、おわり）に分けて書く。

★書き終わり

・書き始めでぎもんやしつもんを書いて、書き終わりで自分の見つけた答えを書く。
・書き始めにその本を選んだきっかけや、自分の生活ぶりなどを書いて、書き終わりで本を読んでから自分の中で何がかわったかを書く。

「読書かんそう文のかきかた」中学年向き　依田逸夫著　ポプラ社
「こんなにかんたん　読書かんそう文」　松田正子著　成美堂
よりまとめたもの